

すこやかちゃん



みか 美佳ちゃん(平成20年8月15日生)
両親＝長谷幸一・綾子さん〔二〕
「毎朝ズーミンに会える事が楽しみで
テレビの前にすわっているよ。」



かな な 菜奈ちゃん(平成21年8月31日生)
両親＝松丸 誠・友子さん〔後草〕
「カメラ目線でちょっとおすまし♡
お座りしてなんでもニギニギ!!」



こうすけ 孝輔ちゃん(平成20年6月10日生)
両親＝古谷孝義・希世美さん〔萬歳〕
「かっこいい働く車が大好き！
ずっと見ていても飽きないよ♪♪」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

4

きれいな色と模様の アゲハチョウ

ひらひらと飛びながら花を訪れるアゲハチョウ。春から夏にかけて庭や公園などによくやってきました。ストローのような長い口を伸ばして、花の奥の甘いみつを吸います。チョウの中では大きくて、色や模様もきれいで目立ちます。市内では9種類のアゲハチョウを観察することができます。



写真のモンキアゲハは最も大型のアゲハで、黒い羽に大きな白い斑点があるのが特徴です。もともとは暖かい地方に住んでいた種類ですが、北の地方にも広がって来ました。同じようにナガサキアゲハという黒いアゲハも最近北上してきて、市内でも見られるようになりました。温暖化の影響でしょうか。

アゲハチョウの羽の色と模様は、鱗粉という魚のうろこのようなものがびっしりと並んでできています。虫眼鏡で拡大して見ると、その美しさにびっくりします。

チョウの仲間が幼虫のときに食べる植物が決まっています。アゲハチョウの仲間にはミカン

類の葉を食べる種類が多いのですが、セリやニンジン、タブノキやクスノキの葉を食べる種類もあります。親のチョウは幼虫の食べる植物を選んで卵を産み付けます。卵からかえった幼虫は緑色で保護色になっていて、頭にある大きな目玉模様や、触れると出す赤い角と嫌なにおいで、敵を驚かせて身を守ります。

夏の暑い日にアゲハチョウが地面に降りてじっとしている姿を見ることがあります。よく見ると地面に口を差し込んで水を吸いながら、同時におしりの方からポタポタとおしっこのように水を出しています。土の中の塩分を吸収しているそうです。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 11日(日) 参議院議員通常選挙投票日
- 12日(月) あさひ砂の彫刻美術展(～19日(月))
- 17日(土) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場オープン(～8月22日(火))
- ミスセタコンテスト(午後1時30分～東総文化会館)
- 飯岡海浜プールオープン(～8月29日(火))
- 海の日
- 19日(月) いいおかY.O.U・遊フェスティバル2010
- 24日(土) (～25日(日))飯岡海岸・萩園
- 31日(土) サマーフェスタ in 矢指ヶ浦

編集後記

B級グルメという言葉が最近よく耳にします。その仕掛け人ともいえるべき「富士宮やきそば学会」の渡辺会長を迎え講演会が開かれました。とても興味深かったのはそのPRのうまさ。マスコミが飛びつきそうなネーミングやイベントで、お金を掛けずにそれ以上の効果を生み出してきたということでした。情報化社会の今、マスコミの影響力の大きさをあらためて感じました。旭市をたくさん取り上げてもらいたい。市の広報担当としても、とても勉強になりました。(ま)